# 病いとともに生きるための意思決定支援

名 E. 常盤 文枝 教授

所 属 看護学科

https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=111toki URL https://researchmap.jp/read0049952

●心不全患者と家族に対する包括的緩和ケアモデルの開発 研究分野

●地域包括緩和ケアの充実にむけた家族への教育支援プログラムの開発

●Kev Words:アドバンス・ケア・プランニング ●意思決定支援 ●健康教育

**‡-ワ-ド** アドバンス・ケア・プランニング、リビングウィル、社会的コンセンサス、ワークショップ、意思決定

## ■研究シーズの概要

アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning: ACP) とは、人生の最終段階をどの ように過ごしたいか、どのような治療を受けたいかについて、事前に患者と医療者が話し合い、自分の生き方を考 えることです

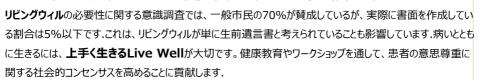
病いの軌跡(病気になってからの 行路)は、病気や個人の状況に よって異なります

(HEART 2012 /5 Vol.2 No.5 p501-p511)

## もしも病気になった時に、

自分の希望を理解してもらう

ために、医療者、家族、親いい人とともに、情報を収集・吟味して、共に考える作業が必要です。





- ●地域住民の健康や病気、治療に関する認識調査
- ●地域住民の健康教育プログラム策定と実施支援

#### ■特定講座のご提案

- ●アドバンス・ケア・プランニングを考えるワークショップ
- ●地域での緩和ケアを考えるワークショップ
- ●「もしも病気になったら」準備ワークショップ

### ■ アピールポイント

- 小疾患患者とその家族に対する看護ケアに関する研究
- ●がん患者の緩和ケアとQODに関する研究
- ●看護教育方法の評価と開発
- ●通所介護における機能訓練の質評価に関する研究。

